



2019年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年9月10日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 四半期報告書提出予定日 2018年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第1四半期の連結業績(2018年5月1日～2018年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第1四半期	1,385	13.3	△74	—	△64	—	△52	—
2018年4月期第1四半期	1,222	5.1	△216	—	△209	—	△155	—

(注) 包括利益 2019年4月期第1四半期 △61百万円(—%) 2018年4月期第1四半期 △105百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第1四半期	△4.29	—
2018年4月期第1四半期	△12.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第1四半期	9,199	6,931	73.7
2018年4月期	9,428	7,078	73.2

(参考) 自己資本 2019年4月期第1四半期 6,781百万円 2018年4月期 6,902百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 2018年2月16日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年4月期の連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年4月期	—	—	—	—	—
2019年4月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日～2019年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,704	7.1	△109	—	△97	—	△36	—	△1.36
通期	5,833	2.2	44	—	16	—	52	—	4.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年4月期1Q	12,337,700株	2018年4月期	12,337,700株
② 期末自己株式数	2019年4月期1Q	312株	2018年4月期	312株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年4月期1Q	12,337,388株	2018年4月期1Q	12,337,388株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年4月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績の緩やかな回復基調が継続しております。一方、国際情勢においては世界的に景気が安定的に推移しているものの、米国の通商政策が各国との貿易摩擦を生じさせるなど不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループが属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、熾烈な競争状態や為替相場の不安定性等の要因により、その業績に確固たる見通しは持ち得ない状態にありますが、電気自動車、医療機器、各種ロボット業界への受注拡大に注力しております。新規開発の試作品製造や製品の量産製造及び受託開発を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製造、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話・デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、量産品製造の受注については低水準の推移となりましたが、時計・電気自動車等を中心とした新規開発試作品製造、金型製造に於いては緩やかではありますが回復傾向にあり、受注が拡大してまいりました。一方、ロボット関連製品については、当社グループの独自製品であるマッスルスーツ、ドローンなどの拡販に注力しましたが、販売が伸び悩み低水準で推移しましたが、受託開発においては堅調に受注が進んでおります。引き続き当社事業の成長に資するためマッスルスーツ、ドローン、災害対応ロボット、配膳サービスロボット等をはじめとした介護・医療分野及びサポート・サービスロボット分野における技術の研鑽に積極的に取り組み新製品を市場へ投入してまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,385百万円(前年同四半期比13.3%増)となり、利益面につきましては、売上総利益は229百万円(同131.8%増)、営業損失は74百万円(前年同四半期は営業損失216百万円)となりました。以下、スクラップ売却収入、受取配当金等の営業外収益33百万円(同40.6%増)を加算し、為替差損及び持分法による投資損失等の営業外費用23百万円(同41.1%増)を減じた結果として、経常損失は64百万円(前年同四半期は経常損失209百万円)となりました。

これに税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は52百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失155百万円)となりました。

なお、当社グループは「金属製品加工事業」の単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

参考：製品別売上高

(単位：千円、%)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	増減率
試作・金型	647,084	821,567	27.0
量産	510,795	518,320	1.5
ロボット・装置等	64,503	41,212	△36.1
その他	4	3,911	97,678.5
合計	1,222,387	1,385,012	13.3

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、9,199百万円となり、前連結会計年度末比229百万円の減少(前連結会計年度末比2.4%減)となりました。うち、流動資産は、4,989百万円となり、前連結会計年度末比221百万円の減少(同4.3%減)となりました。これは、現金及び預金が463百万円減少(同16.8%減)及び受取手形及び売掛金が189百万円増加(同16.4%増)が主因となっております。固定資産は4,209百万円となり、前連結会計年度末比7百万円の減少(同0.2%減)となりました。

負債合計は、2,268百万円となり、前連結会計年度末比81百万円の減少(前連結会計年度末比3.5%減)となりました。うち、流動負債は、1,675百万円となり、前連結会計年度末比131百万円の減少(同7.3%減)となりました。これは、支払手形及び買掛金が68百万円の減少(同10.4%減)したことが主因となっております。固定負債は、592百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の増加(同9.2%増)となりました。

純資産は、6,931百万円となり、前連結会計年度末比147百万円の減少(同2.1%減)となりました。これは、利益剰余金が139百万円減少(同3.5%減)したことが主因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月期の通期業績予想は、2018年6月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なりリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,757,285	2,293,654
受取手形及び売掛金	1,155,091	1,344,624
電子記録債権	481,609	483,533
商品及び製品	97,501	83,686
仕掛品	337,475	360,713
原材料及び貯蔵品	197,582	179,551
その他	198,908	258,096
貸倒引当金	△14,755	△14,793
流動資産合計	5,210,697	4,989,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,895,092	2,939,337
減価償却累計額	△1,323,028	△1,340,555
減損損失累計額	△477,736	△477,736
建物及び構築物(純額)	1,094,327	1,121,045
機械装置及び運搬具	3,072,286	3,089,406
減価償却累計額	△2,392,042	△2,434,639
減損損失累計額	△210,469	△210,469
機械装置及び運搬具(純額)	469,774	444,297
工具、器具及び備品	617,772	622,916
減価償却累計額	△542,768	△548,387
減損損失累計額	△16,443	△16,443
工具、器具及び備品(純額)	58,560	58,084
土地	594,723	592,872
リース資産	1,393	-
減価償却累計額	△1,393	-
リース資産(純額)	-	-
建設仮勘定	25,920	-
有形固定資産合計	2,243,306	2,216,299
無形固定資産		
ソフトウェア	19,689	17,344
その他	3,730	3,690
無形固定資産合計	23,419	21,035
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840,271	1,868,667
長期貸付金	6,500	6,400
繰延税金資産	3,578	3,461
その他	109,621	100,408
貸倒引当金	△9,944	△6,898
投資その他の資産合計	1,950,026	1,972,038
固定資産合計	4,216,752	4,209,373
繰延資産	804	669
資産合計	9,428,254	9,199,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	656,448	588,078
短期借入金	520,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	138,804	109,865
未払金	94,954	131,940
未払費用	133,743	121,551
未払法人税等	81,775	21,186
賞与引当金	103,272	51,636
預り金	23,903	55,887
その他	54,578	75,556
流動負債合計	1,807,479	1,675,702
固定負債		
長期借入金	50,462	73,978
役員退職慰労引当金	349,847	353,190
退職給付に係る負債	18,601	16,949
資産除去債務	3,757	3,768
繰延税金負債	23,553	46,856
その他	95,891	97,618
固定負債合計	542,113	592,362
負債合計	2,349,592	2,268,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
資本剰余金	1,444,429	1,444,429
利益剰余金	3,986,853	3,847,552
自己株式	△86	△86
株主資本合計	6,735,040	6,595,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,452	279,266
為替換算調整勘定	△101,531	△94,739
退職給付に係る調整累計額	812	778
その他の包括利益累計額合計	167,732	185,304
非支配株主持分	175,889	150,001
純資産合計	7,078,661	6,931,044
負債純資産合計	9,428,254	9,199,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)
売上高	1,222,387	1,385,012
売上原価	1,123,403	1,155,568
売上総利益	98,984	229,443
販売費及び一般管理費	315,596	303,653
営業損失(△)	△216,612	△74,210
営業外収益		
受取利息	319	386
受取配当金	12,828	19,869
スクラップ売却収入	6,116	4,880
受取家賃	2,834	634
その他	1,460	7,355
営業外収益合計	23,559	33,126
営業外費用		
支払利息	1,436	1,520
為替差損	4,219	7,259
持分法による投資損失	9,065	11,450
その他	1,644	2,848
営業外費用合計	16,366	23,080
経常損失(△)	△209,419	△64,163
特別利益		
固定資産売却益	-	160
特別利益合計	-	160
特別損失		
固定資産除却損	37	352
特別損失合計	37	352
税金等調整前四半期純損失(△)	△209,457	△64,356
法人税、住民税及び事業税	4,719	4,811
法人税等調整額	△33,153	9,659
法人税等合計	△28,433	14,470
四半期純損失(△)	△181,023	△78,827
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,903	△25,887
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△155,120	△52,939

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)
四半期純損失(△)	△181,023	△78,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,208	10,813
為替換算調整勘定	△8,548	6,791
退職給付に係る調整額	△40	△33
その他の包括利益合計	75,618	17,571
四半期包括利益	△105,405	△61,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,501	△35,367
非支配株主に係る四半期包括利益	△25,903	△25,887

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。